

# 2023年3月期 第3四半期決算

# PAYROLL

2023年2月13日

株式会社ペイロール

[www.payroll.co.jp](http://www.payroll.co.jp)

1

2023年3月期 第3四半期 実績概要 P3 ~ P12

2

2023年3月期 通期業績予想 P13 ~ P15

3

株主還元 P16 ~ P17

Appendix P18 ~ P20

1

## 2023年3月期 第3四半期 実績概要

第3四半期累計期間  
業績ハイライト

**PAYROLL**

**売上収益**

前年同期比

**+9.6%**

Page 6

**営業利益**

前年同期比

**+26.3%**

Page 6

**新規受注ARR**

**1.7億円**

Page 7

**新規稼動ARR**

**4.7億円**

Page 9

**受注残ARR**

**6.1億円**

Page 10

**チャーンレート**

(月平均解約率)

**0.23%**

Page 11

- 2022年11月24日 人的資本に関する情報開示、人的資本に関する取り組みを示す「Pay Gap Report」を公表
- エンタープライズ企業向け大型案件は、受注拡大すべく継続活動中
- SMB企業向けBPaaSサービスの開始（2023年3月予定）に向けて既存顧客の子会社群への拡販活動を実施中
- 人的資本レポート「e-pay HR KPI」有償サービス開始の準備（2023年夏から秋にサービス開始予定）

- ・エンタープライズ企業：従業員1,000人以上の大規模企業
- ・SMB企業：従業員100～1,000人の企業
- ・BPaaS：Business Process as a Serviceの略で、BPOとクラウド、そしてBCPや情報セキュリティを含むインフラを一体提供するサービス

# 第3四半期累計業績

(百万円、%)

	2023年3月期 第3四半期累計期間		2022年3月期 第3四半期累計期間		増減 対前年同期比	
	実績	%	実績	%	増減額	%
売上収益	5,797	100.0	5,287	100.0	+510	+9.6
売上原価	4,053	69.9	3,908	73.9	+145	+3.7
売上総利益	1,743	30.1	1,379	26.1	+364	+26.4
販管費及び一般管理費	952	16.4	903	17.1	+49	+5.4
営業利益	851	14.7	674	12.8	+177	+26.3
税引前利益	812	14.0	632	12.0	+179	+28.3
四半期利益	557	9.6	538	10.2	+18	+3.4
実質四半期利益	557	9.6	433	8.2	+123	+28.5

※実質当期利益: 2022年3月期の税効果会計の影響を除いた実質的な四半期利益

売上収益、営業利益ともに  
堅調な進捗

四半期利益は、稼働済ARR  
(Page 10参照) の増加による  
もので、前期の税効果会計の影響  
を除いた実質四半期利益は  
+28.5%の増益

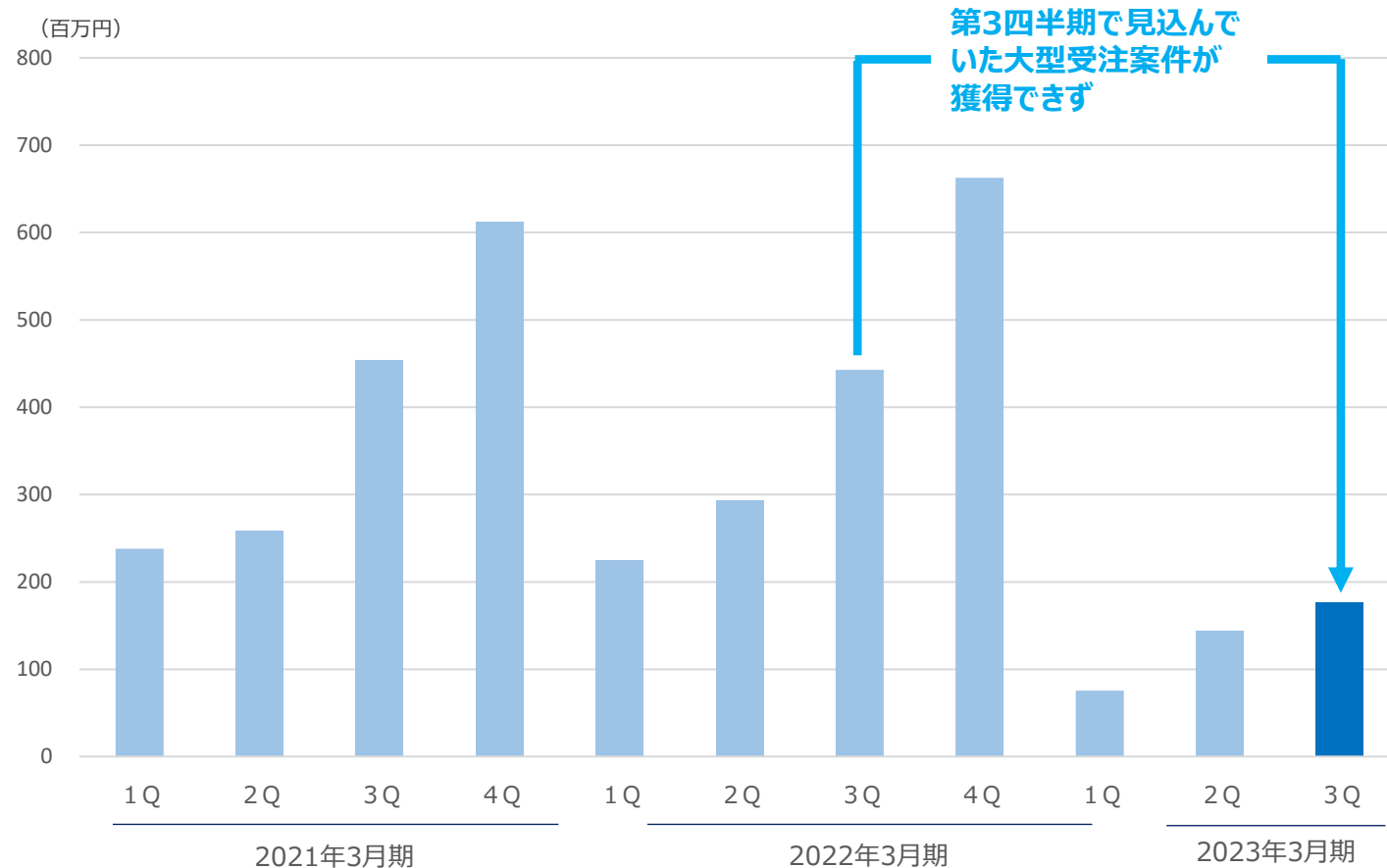
新規受注ARR

新規受注ARR 1.7億円  
前年同期比 ▲60%

第3四半期で見込んでいた大型受注案件の獲得に至らず。受注環境の悪化が要因ではなく、今後も当該案件の受注獲得に向け継続して注力する

新規受注ARR（年度内累計）

新規受注ARR：新規受注した案件の「1年間で発生する売上収益（ランニングフィーのみ）の見込額（年換算の受注高）」



## 受注拡大に向けた活動

- 第3四半期で見込んでいた大型受注案件につき、今後、顧客の体制が整えば改めて受注を獲得できる公算大で、継続して当該顧客をサポートし関係を維持していく
- エンタープライズ企業に対する活動は複数進捗しており、顧客がDXの先となる人事業務全体の効率化が課題と捉えれば、当社のビジネスは加速すると考える
- SMB企業向けのBPaaSサービスの提供は2023年3月の開始を予定しており、すでに既存顧客の子会社群への拡販活動を実施中
- 2022年11月24日 人的資本に関する情報開示、人的資本に関する取り組みを示す「Pay Gap Report」を公表、これを基に顧客に対しても人的資本レポート「e-pay HR KPI」有償サービスを開始予定（2023年夏から秋）

・エンタープライズ企業：従業員1,000人以上の大規模企業

・SMB企業：従業員100～1,000人の企業

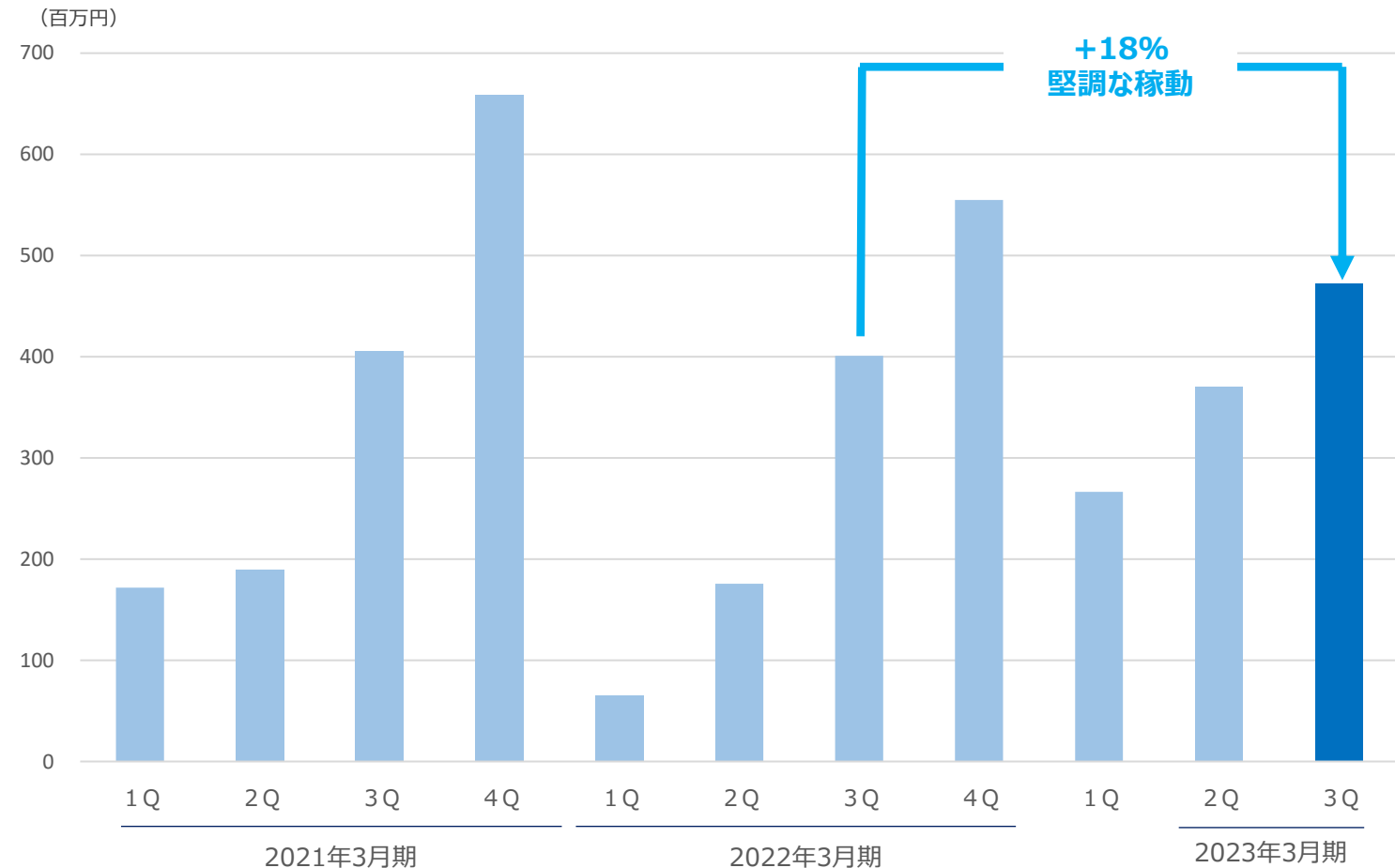
・BPaaS：Business Process as a Serviceの略で、BPOとクラウド、そしてBCPや情報セキュリティを含むインフラを一体提供するサービス



新規稼働ARR

新規稼働ARR（年度内累計）

新規稼働ARR：新規稼働した案件の「1年間で発生する売上収益（ランニングフィーのみ）の見込額（年換算の受注高）」



新規稼働ARR 4.7億円  
前年同期比 +18%

クラウドサービスである新システム  
P3の順調なサービス開始により  
新規稼働ARRは堅調に増加

稼動済ARR・  
受注残ARR推移

第3四半期

稼動済ARR 75.3億円

前期末比 +3.1億円

受注残ARR 6.1億円

前期末比 ▲3.3億円

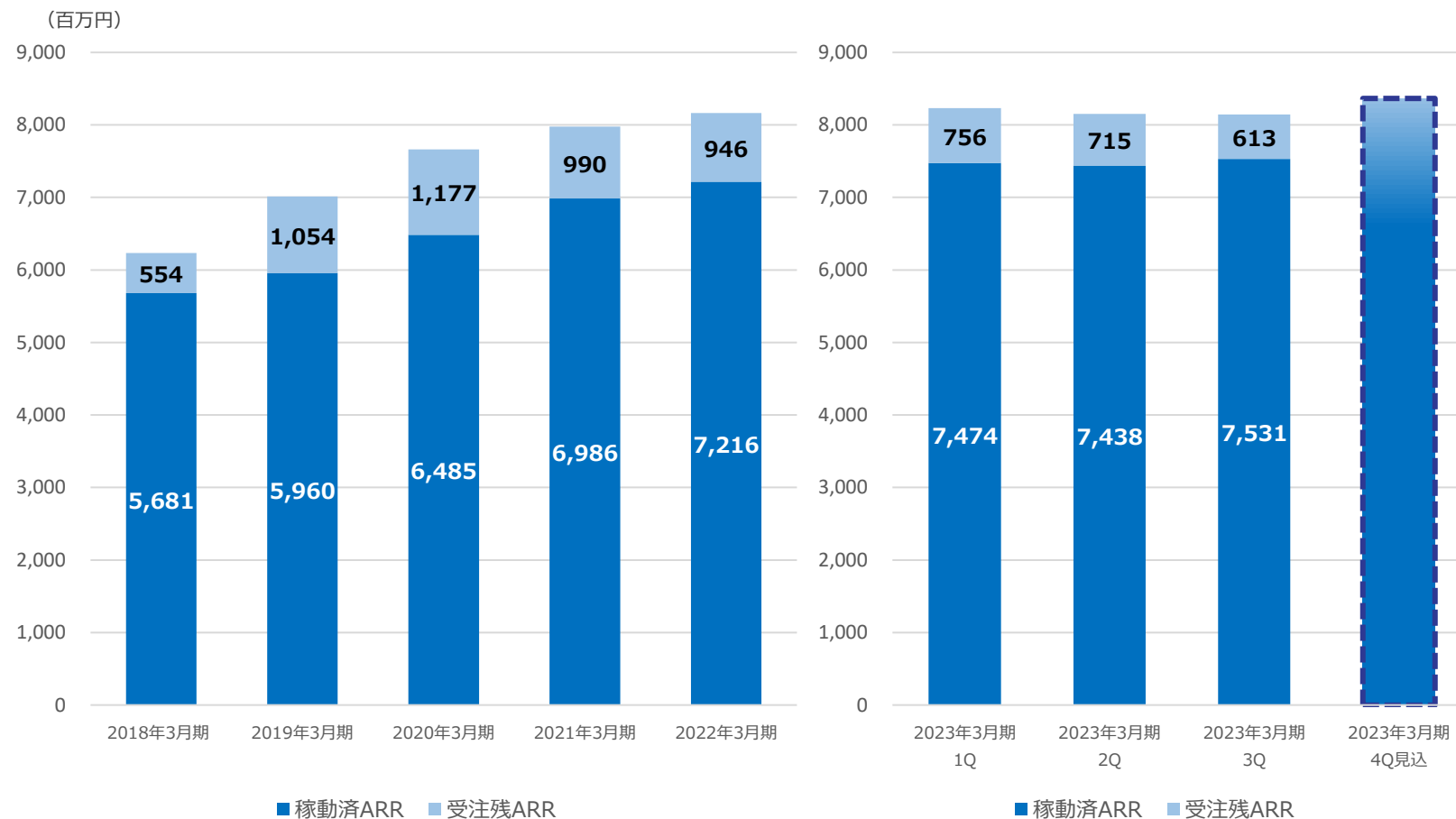
稼動済 + 受注残ARR  
81.5億円

前期末比▲0.1億円

稼動済ARR増加により売上増加。  
大型案件受注の獲得に至らず、  
稼動済+受注残ARRが減少

稼動済ARR・受注残ARR推移

- ARR (Annual Recurring Revenue) : 1年間の継続的な取引により計上される売上収益
- 稼動済ARR : 稼動済みの案件の1年間の継続的な取引により計上される売上収益
- 受注残ARR : 受注済み未稼動の案件の1年間の継続的な取引により計上される売上収益

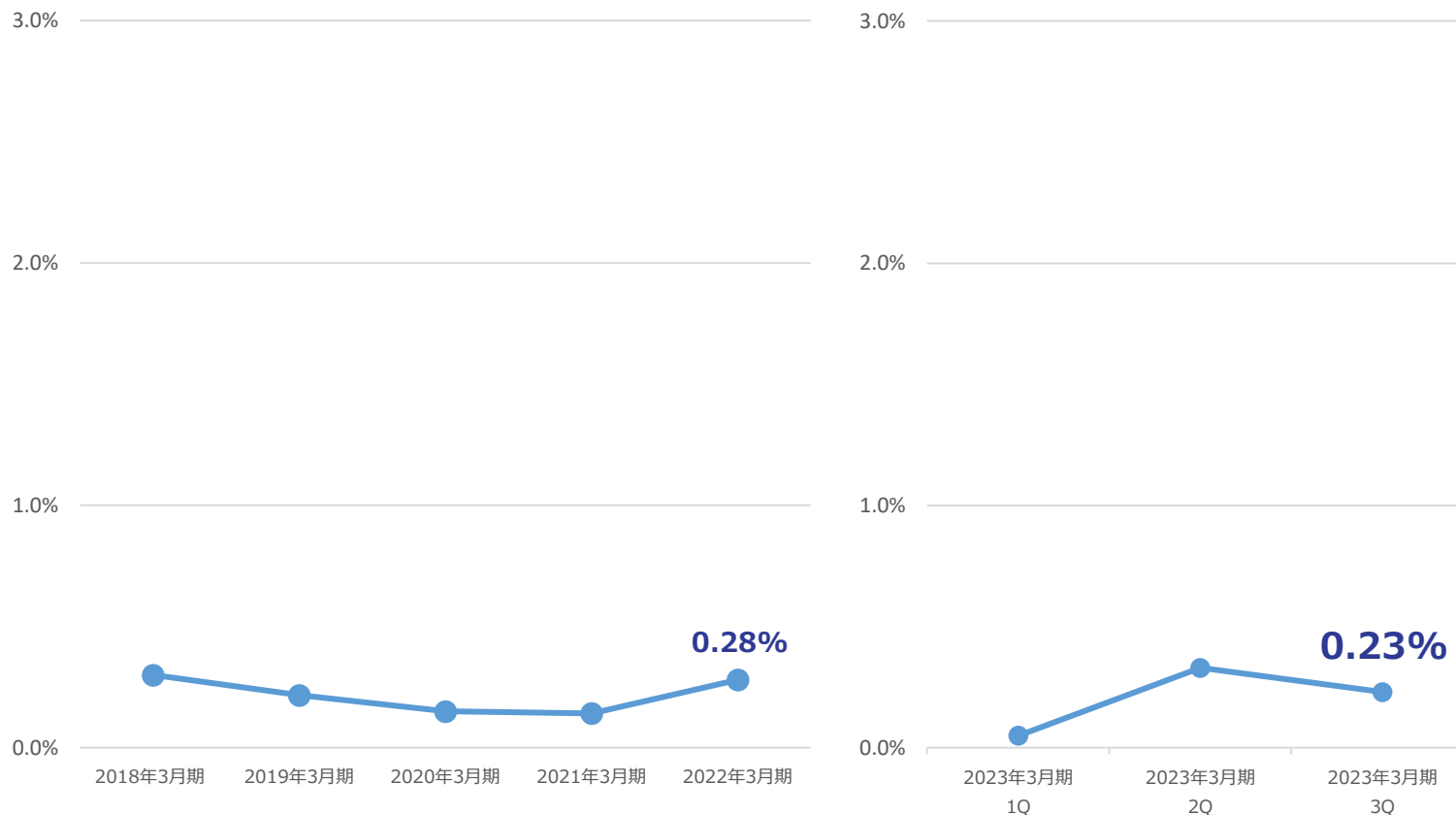


## チャーンレート (月平均解約率)

チャーンレート 0.23%

低位かつ良好な年間解約率で  
推移しており、一定の顧客満足を得ている証左と分析

### チャーンレート (月平均解約率)

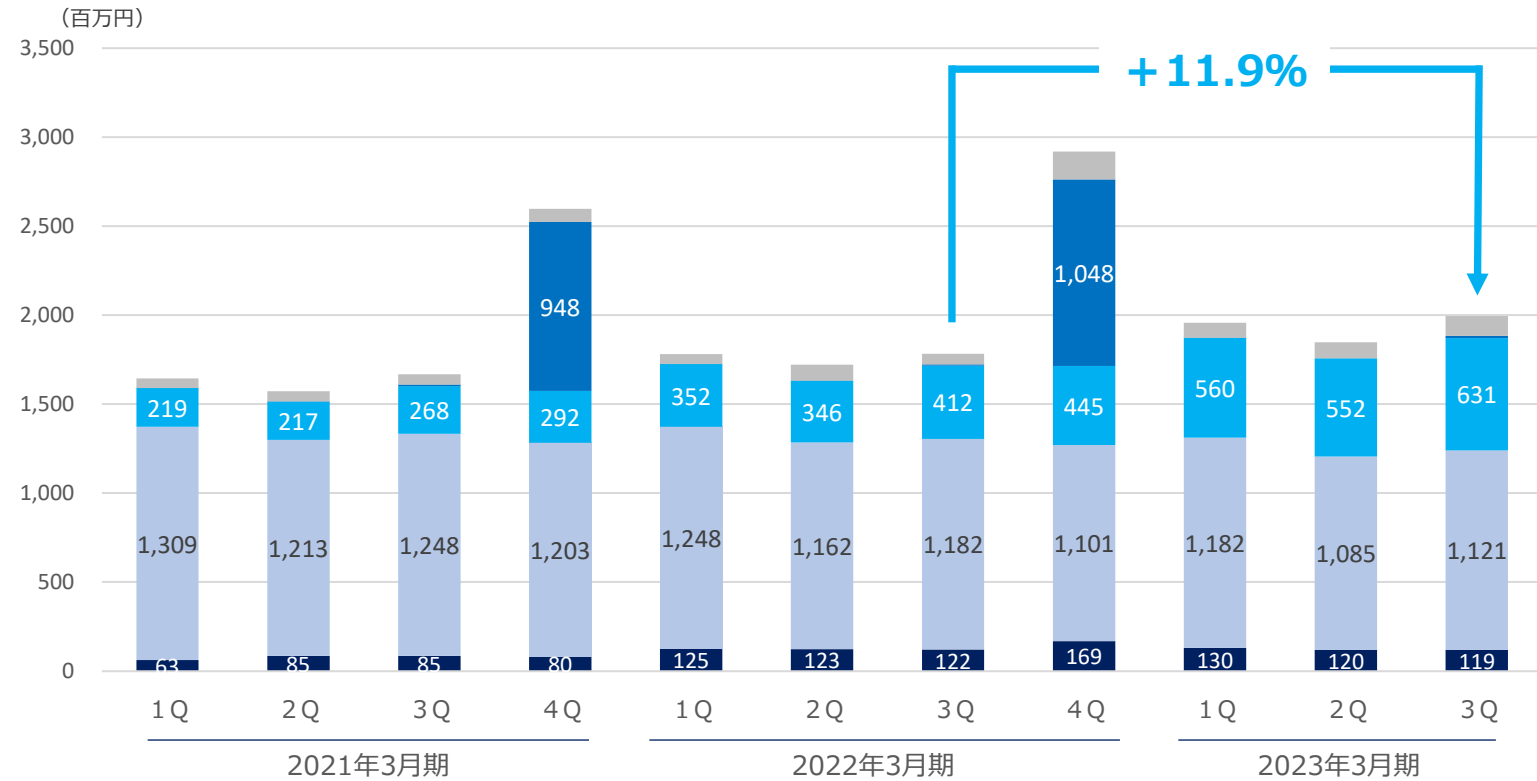


チャーンレート (月平均解約率) :  $(\text{当期喪失顧客ARR} \div (\text{前期末既存顧客ARR} + \text{当期新規稼動顧客ARR})) \div \text{経過月数}$

- ・喪失ARR : 契約終了を迎えた顧客のARR
- ・前期末既存顧客ARR : 前期末までに稼動している顧客のARR
- ・当期新規稼動顧客ARR : 当期に新規稼動した顧客のARR

売上収益推移

売上収益の推移（四半期）



■ 初期導入売上収益 ■ SEP売上収益 ■ P3売上収益 ■ 年調売上収益 ■ その他

- ・初期売上収益：給与計算処理の稼働に向けたイニシャルフィー
- ・SEP売上収益：旧システム（ASPサービス）による売上収益（ランニングフィー）
- ・P3売上収益：新システム（クラウドサービス）による売上収益（ランニングフィー）
- ・年調売上収益：年末調整補助業務による売上収益

第3四半期  
P3売上収益 6.3億円  
+53%（前年3Q比）

P3システムの順調な推移により  
売上拡大。

旧システムSEPは、顧客のP3移管  
により減少する見通し

2

## 2023年3月期 通期業績予想

# 2023年3月期 通期業績予想

売上収益 88.9億円

前期比+8.3%

営業利益 14.7億円

前期比+3.8%

(期初予想と変更なし)

当期利益減益は、前期における  
税効果会計の影響  
2022年3月期に上場に際して行われた  
公募増資により資本金が増加したこと  
に伴い外形標準課税が適用されたため、  
税率変更により繰延税金負債の取り崩し  
が生じ、その影響額について法人税等が  
減少したため

# PAYROLL

(百万円、%)

	2023年3月期 第3四半期累計期間		2023年3月期 通期		2022年3月期 通期		増減 対前年比	
	実績	進捗率 %	予想	%	実績	%	増減額	%
売上収益	5,797	65.2	8,890	100.0	8,207	100.0	+683	+8.3
売上原価	4,053	63.8	6,356	71.5	5,811	70.8	+545	+9.4
売上総利益	1,743	68.8	2,534	28.5	2,396	29.2	+137	+5.7
販管費及び一般管理費	952	79.7	1,195	13.4	1,189	14.5	+6	+0.5
営業利益	851	57.9	1,470	16.5	1,416	17.3	+53	+3.8
税引前利益	812	57.4	1,413	15.9	1,360	16.6	+52	+3.9
四半期利益	557	57.4	970	10.9	1,089	13.3	△119	△11.0
実質四半期利益	557	57.4	970	10.9	984	12.0	△119	△1.4

※実質当期利益:2022年3月期の税効果会計の影響を除いた実質的な四半期利益

- ▶ 2023年1月23日、厚生労働省の主催する「第55回 労働政策審議会雇用環境・均等分科会」にて、当社「Pay Gap Report」が「更に先進的な情報公開に取り組んでいる企業の例」として紹介  
当社は、人事労務・給与計算業務におけるBPOサービス及び人的資本情報の開示サービス（e-pay HR KPI）を主とするサービスを提供し、人事労務領域をけん引する企業を目指す  
また、当社は「人的資本」の観点においても、賃金格差の改善や適切な評価の実現に向けた評価制度の改善を実施しており、顧客に対しても人事労務に関連したサービスの提供に努める
- ▶ エンタープライズ企業に対する活動は複数進捗しており、新規を含めた顧客の給与計算・人事業務効率化のニーズを逃すことなく、当社ビジネス拡大のチャンスとする
- ▶ SMB企業向けのBPaaSサービス提供を2023年3月に開始予定し、既存契約顧客に加えて、既存顧客子会社群への拡販、新規顧客の導入採用を目指す

・エンタープライズ企業：従業員1,000人以上の大規模企業

・SMB企業：従業員100～1,000人の企業

・BPaaS：Business Process as a Serviceの略で、BPOとクラウド、そしてBCPや情報セキュリティを含むインフラを一体提供するサービス

3

## 2023年3月期 株主還元



## 2023年3月期 株主還元

当社は、株主に対する利益還元を重要な経営上の施策としています。

長期的には30%程度の連結配当性向を目標とし、株主に対して安定的かつ継続的な増配を実現する形で剰余金の配当を行うことを基本方針としています。

### 2023年3月期

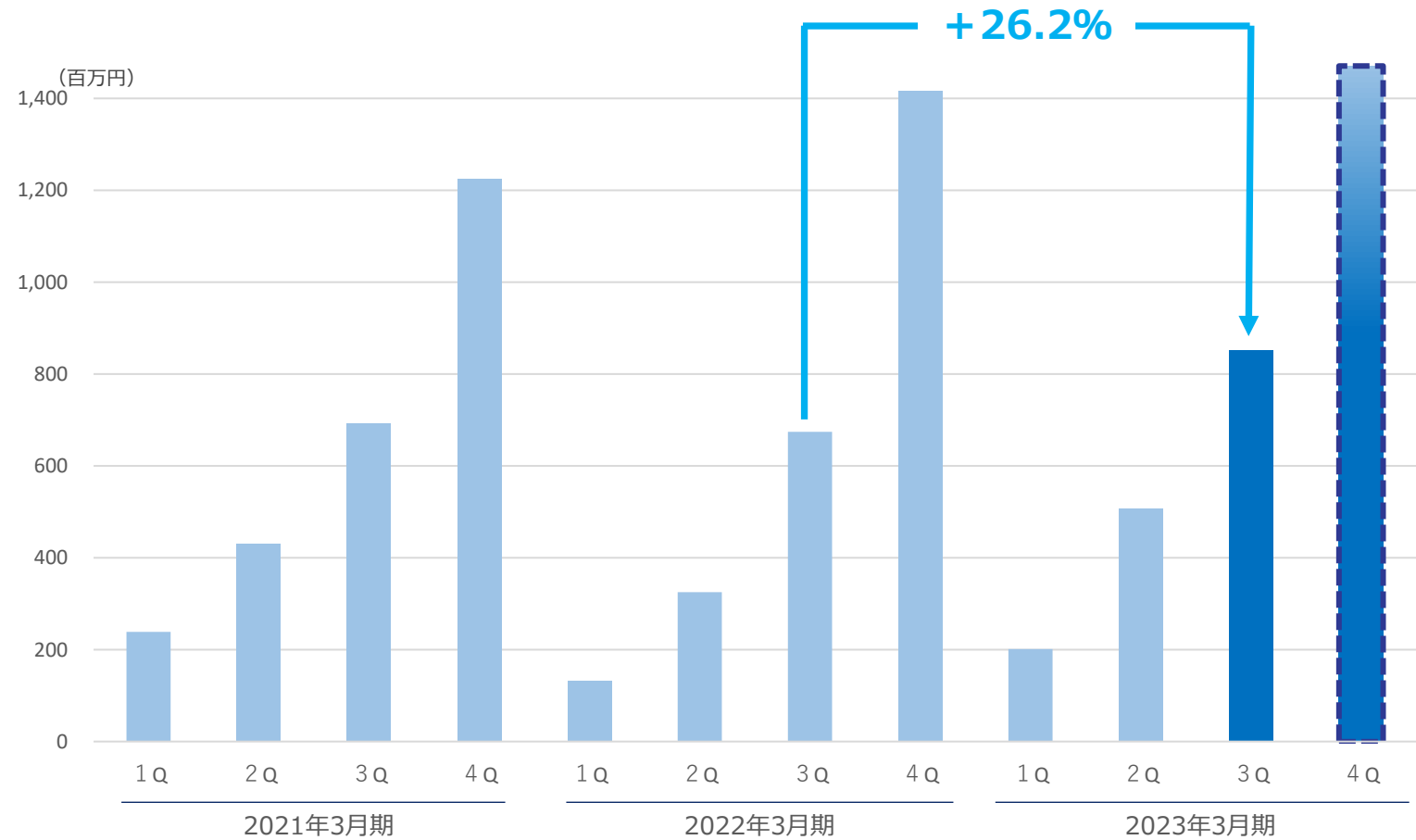
期末配当（2023年6月上旬 予定） 10.00円  
（1株当りの配当金額）



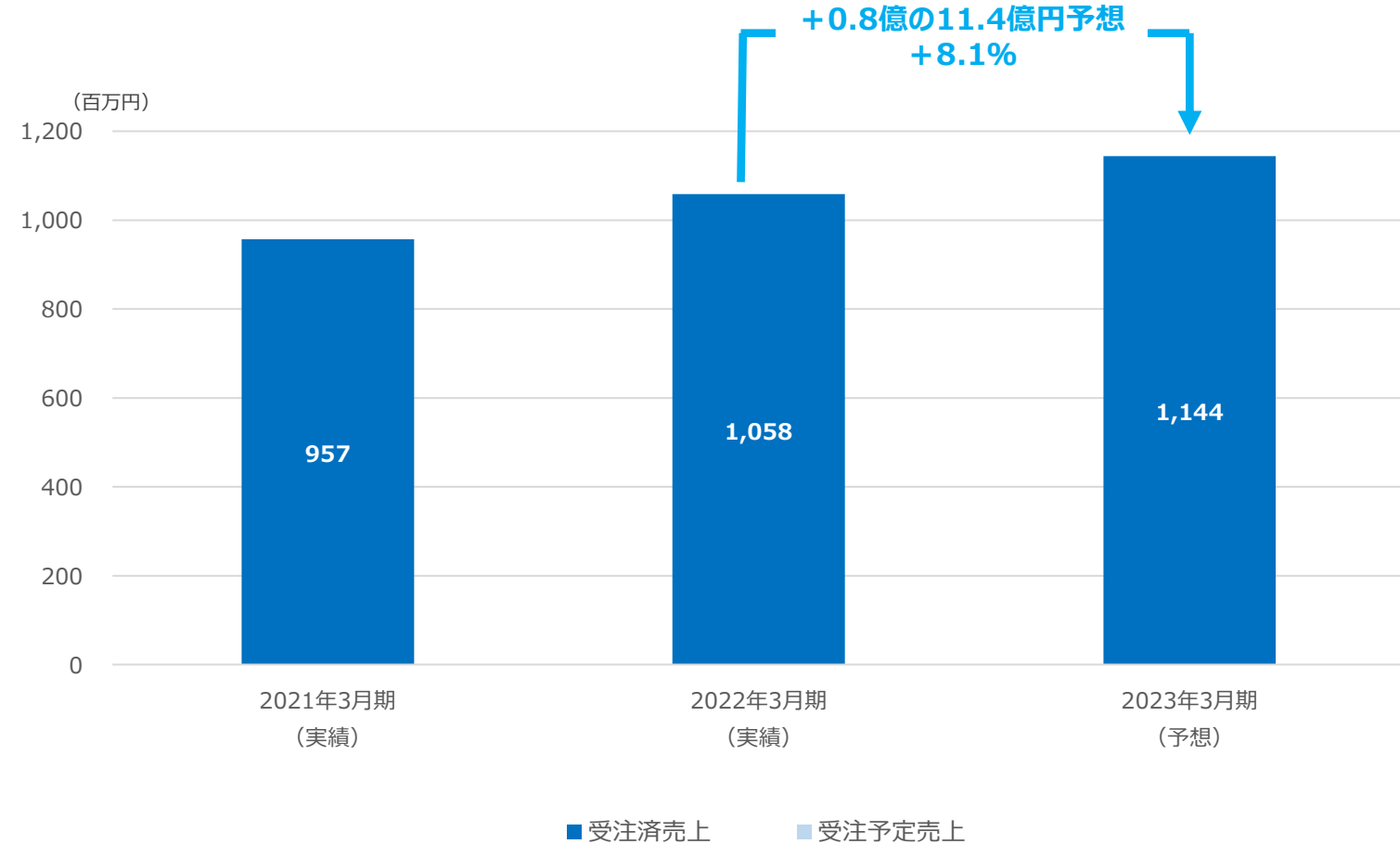
# Appendix

補足資料

## 営業利益の推移（年度内累計）



年末調整補助業務 売上収益の推移（年間）



本資料に記載されている業績見通しや将来予測は資料作成時点での当社の判断であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

PAYROL